一般質問の登壇者

小　俣　文　宣（清風会）
18年度予算編成、高齢者世帯の見守り、自主防災組織、定年退職者の地域活動、道路行政

若　林　丈　人（市政クラブ）
公共交通行政、財政、教育行政

添　田　ひろ子（公明党）
事業仕分け、バイオマスタウン、自動体外式除細動器、防災・災害時の女性の視点、松戸野田有料道路、こども110番の家

小　倉　良　夫（連合クラブ）
商工・労働行政、環境行政、教育行政

藤　田　　進（民政クラブ）
大規模震災対策

金　子　博　美（日本共産党議員団）
財政問題、青年の雇用問題、少子化対策、介護保険制度、まちづくり、交通安全対策、残土問題

中　井　洋　子（市民ネットワーク）
児童虐待の取り組み、消費生活相談センター、障害者自立支援法、化学物質管理法（PRTR法）と石けんの見直し、北部小

長　南　博　邦（新社会党）
清掃行政、国勢調査、国民保護計画、新高齢者医療制度、建設行政

堀　井　孝　悦（清風会）
18年度の予算編成、合併に伴って、旧関宿小学校跡地利用、キャリア教育、二学期制、AED（自動体外式除細動器）

木　村　たか子（公明党）
防犯対策、音楽療法、介護予防、医療対策、障害者自立支援、環境問題

松　本　睦　男（日本共産党議員団）
防災行政、清掃行政、道路行政

越　智　邦　子（市民ネットワーク）
予算編成方針、入札改革、良質なまちづくり、自然保全、裁判後の課題、重症心身障害者施設、情報公開

大　橋　広　志（日本共産党議員団）
国民保護法、公共事業のあり方、道路行政、街路灯・防犯灯の設置

千久田　祐　子（日本共産党議員団）
保健行政、福祉行政、財産管理、土木行政

※質問順位は議会の申し合わせにより決定しております。

歩車道境界ブロックが設置されているS字カーブ（上花輪地先）

上花輪地先S字カーブ改良の方法は

小俣　文宣議員

質問　**上花輪地先にある中央労働金庫野田支店前の交差点から今上地先の堤防に至る途中のS字カーブは接触事故が多く、改良する方法がないか地元の方々から尋ねられ苦慮している。最近、S字カーブのわきが更地になり用地買収による道路の拡幅が可能となると思うが、当局の見解を伺いたい。**

答弁　上花輪地先のS字カーブは、四メートルから五メートルの幅員が確保されているが、カーブがきつく減速しないと曲がれない状況である。対策としては、市で反射板やカーブミラー、歩車道境界ブロックを設置するとともに、警察でもスピード規制と駐車規制をしている。抜本的な改良をする場合には用地買収やブロック塀の移転が必要であるが、過去に民地との境界査定を実施したものの、地権者の同意が得られなかった経緯がある。更地部分だけを拡幅した場合には、ブロック塀との間の歩道部分を広げることができず、カーブが変則的になることから、抜本的な解決策にはならない。今後は、平静な住宅地であることから、速度を抑制する対策を検討したいと考えている。

いちいのホールでの乗りかえ時間の短縮を

若林　丈人　議員

質問　**関宿城ルートと北ルートを通るまめバスは、いちいのホールでの乗りかえが必要となることから、二川地区や関宿地区に住む市民は、市役所方面に来るのが心理的に遠く感じるようである。そこで、朝日バスとの競合の問題があることは承知しているが、いちいのホールでの乗りかえ時間の短縮について、当局の見解を伺いたい。**

答弁　関宿城ルートと北ルートについては、二つのルートが重なっているところであれば、どこのバス停でも乗りかえは可能であるが、乗車時間をできるだけ短縮するために、いちいのホールのバス停を乗りかえの柱として運行時間を設定している。また、運行時間については、朝日バスとの競合を避けるため、まめバスの関宿中央ターミナルと関宿城博物館の出発時間をできるだけ近接させず、近接した場合にも、まめバスは朝日バスよりおくらせて出発することで朝日バスと調整をさせていただいている。その制限の中で、北ルートとの乗りかえ時間を可能な限り短縮した結果、おおむね五分から二十分となっていることもあり、現行の乗りかえ時間を短縮することは困難であると考えている。

まめバス（いちいのホールバス停前）

バイオマスタウン構想導入による資源の活用は

添田ひろ子　議員

質問　**野田市では、県内でいち早く剪定枝の堆肥化を持続的農業総合対策事業として始めた。今後は、その先進的な手腕を食品廃棄物に向けるときではないかと考える。ゴミそのものはリサイクル等で減量しているが、最終処分を考え、資源としての活用に取り組む自治体がふえている。そこで、バイオマスタウン構想についての見解を伺いたい。**

答弁　バイオマスの利活用については、環境負担の軽減、循環型社会の形成等に効果が期待できることは認識している。また、バイオマスタウン構想は、バイオマス資源の発生から利用までが効率的なプロセスで結ばれた総合的利活用システムが構築され、安定的で適正な利活用ができる地域で実施されるものである。バイオマス・ニッポン総合戦略では、地球温暖化の防止、循環型社会の形成、戦略的産業の育成、地域の活性化という四つの期待を持っており、市としては、これらの視点を考慮した上で進めていく必要があると認識している。今後は、堆肥センターで生産された堆肥の品質向上や利用先の拡大を図っていきたい。

堆肥センター

産廃処理施設の建設 県の結論は

小倉 良夫 議員

質問 **産業廃棄物処理施設の建設許可に至るまでは、有識者で構成する県の廃棄物処理施設設置等専門委員会が開催され、住民や市からの意見及び同委員会からの意見を踏まえ、法律に定める基準に合致しているかを判断し、許可されると思う。そこで、同委員会が開催される場合にはどのように意見集約が行われるのかお聞きしたい。また、施設建設許可に関する県の結論が出ているのか、あわせて伺いたい。**

答弁 有限会社柏廃材処理センターにおける産業廃棄物処理施設の設置に関しては、平成十六年十二月七日から平成十七年一月七日まで県・市において産業廃棄物処理施設の関係図書の縦覧が行われた。県では縦覧者一名、意見数五十七件、市では縦覧者三十一名、市を経由した意見数二件の合計で縦覧者三十二名、意見数五十九件が提出された。これらを踏まえ県の廃棄物処理施設設置等専門委員会及び都市計画審議会の審議を経て、問題がなければ許可される。専門委員会の開催日や審議内容等は非公開とされているこ

産廃処理施設建設予定地（南部工業団地内）

とから、県に問い合わせても回答していただけず、結論に関しても把握できない状況である。

市民の救命率向上に 救急救命士の増員を

藤田 進 議員

質問 **消防法施行令では救急車一台に三名以上の乗車体制が定められている。市でもその基準はクリアしているものの、大規模震災を想定した場合には救急隊員全員が救急救命士であることが理想的であり、救急救命士の増員による市民の救命率向上を図ることが重要と考えている。そこで、増員の年次計画があるのか伺いたい。**

高規格救急車

答弁 平成十七年十一月末現在、救急救命士は、市内の一署四分署一出張所に配置されている五十四名の救急隊員のうち十三名配置されている。総務省消防庁では、すべての救急隊に常時一名の救急救命士を配置する体制を目標としているので、六台の救急車を三交代制勤務で運用している野田市では、最低十八名の救急救命士が必要となることから、この目標達成に向けて取り組んでいきたいと考えている。

また、救急救命士の増員については、救急救命士養成所の受け入れ制限があることから、将来にわたっての新旧職員の交代なども考慮しながら、目標達成に向けて、毎年度二名程度を継続して養成していきたいと考えている。

岩名地先の残土埋め立て 市と県の指導は

金子 博美 議員

質問 **岩名地先の残土埋め立てを指摘してから一年経過した。今から九カ月前の三月二十四日には新たに残土が運び込まれ、県に対して指導の甘さを指摘し、川口資材への強力な指導を求めた。その後は整地がされ、素堀りで市が管理する水路も掘られたが、雨のたびに崩れだんだん浅くなってきている。そこで、水路を確保させ、埋め立て工事が完了できるよう強力な指導をすべきと考えるが、市の対応をお聞きしたい。**

答弁 岩名地先における県の是正計画は、盛り土だけの指導であるので、市の埋立問題協議会にて問題を集約し、県から川口資材への指導がなされた。このうち水路機能の確保等について、市でも埋め立てが原因で周辺に影響を及ぼさないための方策を指導してきたが、仮排水機能は確保されているものの、盛り土が高く、地権者が同意している中で施工されておらず、再三指導したところである。また、農地造成についても、搬入された土砂が超過盛り土であり、許可権者である県より是正指導がなされた。農業委員会としても施工業者や地権者の代表者に指導してきたが、解決には至っておらず、今後は、関係機関と連携を図りながら、さらなる指導をしていきたい。

素堀りの水路（岩名地先の埋立地）

消費生活相談 市民の利便性向上を

中井 洋子 議員

質問 **消費生活相談は、三名の相談員が交代により一日一名体制で相談を行っているが、一名で対応するには限界がある。相談室には仕事上で必要なパソコンも設置されていないため、相談員がほかの場所で業務をしている間は相談室は無人となる。このような人的体制や職場環境では市民サービスの低下といえるので、相談員を二名体制とするとともにパソコンを設置し、市民の利便性を図るべきと考えるが、当局の見解を伺いたい。**

答弁 消費生活相談は、三名の消費生活相談員を委嘱し、ローテーションにより原則一日一名体制で業務を行っているが、毎月一回は三名全員で勤務し、相談内容や進捗状況の協議・調整を行うとともに、日々の状況についても連絡カード等により連携をとっている。また、多数の相談者が来庁した場合には、職員が相談までの待ち時間にあらかじめ相談内容を伺うとともに、関係業者や類似商法などの情報整理など、相談員の補助的な業務を行っている。さらに、今年度、相談室にインターネットへの接続が可能なパソコンを設置する予定である。

市役所2階にある消費生活センター

国勢調査の実施 今後の課題は

長南 博邦 議員

質問 **今回の国勢調査は個人情報保護法が施行され初めての調査であり、個人の情報はあまり知られたくないという潜在的な感情があらわになるとともに、就労の多様化により、調査員はひときわ苦労されたと思う。そこで、今回の国勢調査の結果を踏まえ、どのような課題が浮き彫りになったのか教えていただきたい。**

答弁 国勢調査の実施方法については、前回の調査と変更点はないが、個人情報保護法が施行されたことにより、国民の個人情報に対する意識が大きく変化していると思う。また、調査員への説明にも十分配慮しながら実施したが、調査員も自治会から推薦された市民という立場を考えると対面調査を基本とする従来の調査方法には、無理があると危惧していた。市民や調査員からさまざまな苦情や意見があり、調査員に御苦労をおかけするとともに実施本部でも対応に苦慮したのも事実である。今後、国民の意識がさらに変化することが予想され、現行の調査方法を維持することは不可能だと考える。そこで、他の調査への代替や国勢調査の是非を含めた抜本的な見直しを国に対して強く要望したいと考えている。

国勢調査調査票

消防署での職場体験（応急手当を学ぶ第二中学校の生徒）

キャリア教育の目的と市内事業所の協力は

堀井 孝悦 議員

質問 **フリーターの多くは、高校や大学で何のために学校へ行き、何のために働くのかという教育を受けておらず、社会人への予備的な訓練を受けるという意識が薄いと言われている。このような問題に対応する目的で中学二年生全員にキャリア教育を実施していると思うが、教育長の見解を伺いたい。また、受け入れていただいた事業所数をお聞きしたい。**

答弁 キャリア教育の実施目的は、生徒一人一人の望ましい職業観や勤労意識を育てることにある。市では、この目的に加え、地域の子供は地域で育てる、地域の子供は地域に生きるという新たな視点を持ちながら実施している。

また、野田地区雇用対策協議会で雇用していただいた二名の訪問員による事業所開拓の結果、二八五の事業所で受け入れていただき、そのうち一七九事業所で五日間を、五十三事業所で二校以上を、受け入れていただいている。現在まで、市内の中学校十一校のうち六校が職場体験を実施しており、残りの五校が一月に実施することから、最終的に協力していただける事業所はさらにふえる見込みである。

学校内外を含めた防犯対策の実施を

木村たか子議員

質問　**さまざまな事件が報道される中で、弱い立場にある子供たちが被害に遭う悲しい事件が後を絶たず、自分の子は自分で守らなければと言っている親もいる。そこで、学校の内外を含めた防犯対策及び児童生徒への指導や保護者への働きかけなど、どのように行っているのか教えていただきたい。**

答弁　学校内の防犯については、安全管理マニュアルに沿って門の施錠や受付窓口を一本化することで来校者のチェック及び名札の着用を励行するなど、不審者の侵入を防ぐ取り組みを行っている。さらに、各学校では、不審者の侵入を想定した訓練や防犯対策研修会を実施するとともに、催涙スプレーの携帯や防犯教室などを通して、緊急時に対応できるような対策を講じている。また、登下校時においても、複数名での登下校の徹底や集団下校の実施、職員やＰＴＡによるパトロール、各家庭への防犯対策ステッカーの配布などの対策を講じるとともに、こども一一〇番の家の設置やステッカーを貼付した公用車の巡回、郵便局との連携による不審者情報の提供など、関係諸機関との連携を通して、子供の安全確保に努めている。

こども110番の家の看板（中央公民館）

関宿クリーンセンター住民との話し合いは

松本　睦男議員

関宿クリーンセンター

質問　**関宿クリーンセンターを整備する際に地元住民と締結した協定では、平成十八年で期限が切れると聞いているが、現時点で話し合いがどうなっているのかお聞きしたい。**

また、協定との関係や施設の老朽化の進みぐあいから、近い将来には抜本的な施設整備の検討が必要となると思うが、当局の見解を伺いたい。

答弁　関宿クリーンセンターには、平成元年八月十二日に関宿町ごみ処理場建設反対期成同盟委員長と関宿町長との間でごみ処理施設に関する公害防止協定書を締結し、特約として施設が十五年経過後に地域の意見を尊重し、ほかの地区へ移設するとの規程がある。当時の関宿町ごみ処理場建設反対期成同盟である古布内・桐ケ作地区環境を守る会と、今後も継続して稼動できるよう協議を重ねている。また、施設の耐用年数は、おおむね三年ごとに実施している精密機能検査の結果では、これまでどおりメンテナンスを実施することで、十分対応できると評価されており、必要なごみ処理量に見合った処理能力であれば問題はないと認識している。

公平かつ公正な入札制度改革の実施を

越智　邦子　議員

質問　**国の公共事業における談合報道は、官民癒着による税金のむだ遣いや入札談合の根深さを物語っている。野田市は、落札率が一〇〇％となる件数が二十件と県内で一番多く、現行の落札状況を見ると指名競争入札のみでは特定業者への優遇策という印象が強いため、公平・公正・透明性を高め、税金を削減する入札改革が必要と考えるが、当局の見解を伺いたい。**

答弁　落札率が一〇〇％となった件数は、平成十六年度で九十二件のうち二十件と、近隣市と比較して多いことは認識している。しかし、二十件のうち十一件は再度の入札でも落札者がなく、最低入札額を示した業者から見積りを徴し、随意契約したものであり、他の九件も指名競争入札の結果、落札率が一〇〇％となり、健全な競争性がないとの判断には無理があると考えている。入札改革については、現行の入札制度において適正かつ公正な入札を執行しており、一般競争入札を導入した場合には、どのようなことが改善されるのか疑問である。市では、市内業者の育成と市内経済の活性化を図るため、市内業者優先による指名競争入札を行なっていくことが重要と考えている。

入札箱

紫ゴルフ場内のつけかえ道路

紫ゴルフ場内つけかえ道路の認定は

大橋　広志　議員

質問　**鶴奉地先にあるゴルフ場内の公道払い下げにかかわるつけかえ道路については、昭和三十五年九月定例会においてゴルフ場内の道路線が廃止され、払い下げられたものであり、いまだに認定されず四十五年が経過している。そこで、この認定道路がなかなかできない理由を教えていただきたい。**

答弁　法定外道路の譲与は、譲与を受ける境界を確定させ、求積《面積の算出》する必要があったことと、道路に隣接する地権者の同意が必要であったことから、申請手続きが煩雑で困難な面があったが、地方分権推進計画に伴う法定外公共物の取り扱いとして簡便な方法で市町村に譲与されることになり、ゴルフ場内の公道も平成十四年四月一日付で市に譲与された。譲与された道路は、表示登記及び保存登記を進め、関係書類が整ったことで平成十七年四月八日に登記が完了した。現在、つけかえ道路の求積中であることから、今後、作業完了後に地元の皆さんとも協議・調整を図り、交換の手続きを進め、手続き完了後につけかえ道路を認定したいと考えている。

会議録をご覧下さい

市議会だよりに掲載の審議内容や一般質問は紙面の都合により要約してあります。詳しく知りたい方は会議録をご覧下さい。

※12月定例会の会議録は2月中旬ごろ配置される予定です。なお、ホームページにおける会議録の公開においても、2月中旬となります。

― 議 会 日 誌 ―

11月24日	議会運営委員会
30日	開会、本会議（議案上程、市政一般報告、議案質疑、委員会付託、委員長報告、質疑、討論、採決）、総務委員会
12月 7日	議会運営委員会、本会議（議案質疑、委員会付託）
8日	本会議（一般質問）
9日	本会議（一般質問）、議会運営委員会
12日	本会議（一般質問）
14日	建設委員会、文教福祉委員会
15日	総務委員会、環境経済委員会
20日	議会運営委員会、本会議（委員長報告、質疑、討論、採決）閉会

桐ケ作地先の水路しゅんせつ工事の実施は

千久田祐子議員

質問 **桐ケ作地先の小森印刷わきから関宿クリーンセンター前を通り、関宿落堀（おとしぼり）に至る水路は、集中豪雨や台風時に流末があふれ、県道我孫子関宿線が冠水し、通行どめになるのが常態化していた。そこで、今年の夏に県道から関宿落堀までのしゅんせつ工事が実施され、住民から感謝の声が寄せられていることから、引き続き県道から小森印刷までのしゅんせつ工事をどのように進めていくのかお聞きしたい。**

答弁 桐ケ作にある小森印刷わきから県道までの水路のしゅんせつ工事は、平成四年度に実施している。また、接続する柏寺落堀についても、平成四年度から平成十四年度にかけて、しゅんせつ工事や水路の拡幅工事を実施している。さらに、合併後には大雨のときに県道が通行どめとなったことから、今年度に関宿落堀から県道までの五一四メートルのしゅんせつ工事を実施したところである。小森印刷わきについては、土砂が堆積している状況は把握しているものの、柏寺落堀本線のしゅんせつ工事や水路整備を優先することから、随時下流からしゅんせつ工事を実施して、水路の機能確保に努めたいと考えている。

小森印刷わきの水路（桐ケ先地先）